アプリケーションによる公共施設利用促進に向けた試行的展開

玉野総合コンサルタント株式会社　則竹　登志恵　黒岩　剛史　宮澤　祐二

○キーワード
ICT、アプリケーション、公共施設、利用促進、大規模公園、実証実験、導入機能

○概要

本件はスマートフォン等の普及を背景に、公共施設の利用促進・満足度向上、利用者ニーズの把握、維持管理への応用等が可能な『運営・整備・管理』に役立つマネジメントツールとして、端末用のアプリケーションの導入機能について検討したものである。

2 箇所の大規模公園を実験フィールドとし、それぞれの公園の目的に合わせたアプリケーションを試作して実証実験を実施し、導入の効果と運用上の課題をまとめた。

アプリケーションの導入により、施設の利用促進、魅力向上、地域学習などに効果が確認された一方、継続的な運用に向けて、コンテンツの充実・更新方策の設定や、利用者・運営者双方へのメリットの提示、認知度の向上などに対応する必要があることなどが課題として挙げられた。

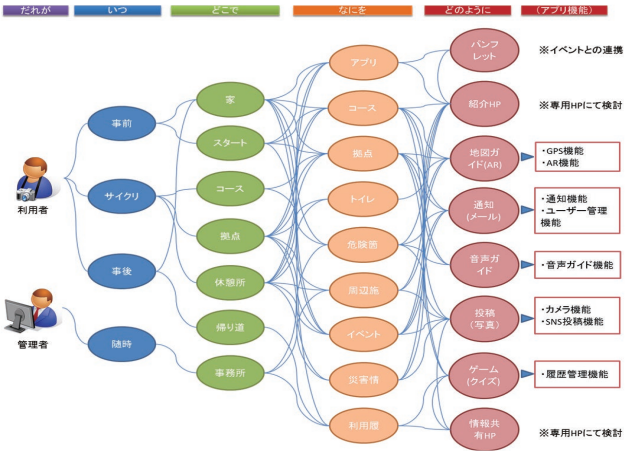
○技術ポイント

試作アプリケーションとして以下の機能を導入し、実証実験を行った。

【A公園】：公園内スポットの魅力向上を目的とした写真撮影によるスタンプラリーやクイズ形式による施設紹介
施設概要表示、マップ機能・GPS機能（位置測位機能）、カメラ機能（撮影、写真の選択）、クイズ機能

【B公園】：一部公道を含む広域のサイクリングコースの紹介
施設概要表示、マップ機能・GPS機能（位置測位機能）、通知機能（バイブレーション、アラーム、メッセージ）、音声ガイド機能（位置設定）

○図・表・写真等



利用者・管理者の行動と機能の関連図

公園管理者へヒアリングした結果を参考に、大規模公園のマネジメントツールとして必要となる機能を、利用者目線、管理者面で体系化した。利用者、管理者がそれぞれ必要とすることがらを、「いつ」「どこで」「なにを」「どのように」必要とするのかなどの関連性をおおまかに整理した。

実証実験の様子

A 公園、B 公園の 2 箇所において、行政、指定管理者、公園利用者、大学など、様々な立場の方にご協力いただいて実証実験を行った。